

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎鶴が台計画新築工事	階数	地上7F
建設地	茅ヶ崎市鶴が台528番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・第一種中高層住居専	平均居住人員	641 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2020年12月24日
敷地面積	5,578 m ²	作成者	榊長谷エコーホレーション
建築面積	3,059 m ²	確認日	2020年12月24日
延床面積	14,563 m ²	確認者	榊長谷エコーホレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>・JR茅ヶ崎駅から徒歩25分(又はバスで15分)の第一種中高層住居専用地域・近隣商業地域に、単一用途の共同住宅を周囲の街並みに調和を図りつつ計画をした。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>・建築材料は、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、低VOCの建材も全面的に採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・各住戸に1Gbpsクラスの「フロードバンド」利用可能である。</p> <p>・日本住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3を取得予定。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・BEE=0.92、LED照明設備を導入している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・広告照明を行っていない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される